

おうみ狂言図鑑2024

2024年 新作 ななつどく 七道具 作:小佐田定雄 演出:茂山童司

滋賀・近江を題材にした「おうみ狂言図鑑」シリーズ。今回の新作狂言「七道具」には、近江商人と武蔵坊弁慶が登場します。平和になって失業してしまった弁慶に「三方よし」の精神を教える近江商人。果たして、弁慶はうまく商売ができるのでしょうか!?



そのほか、会場ごとに古典2作品を上演。わかりやすい解説付きで、はじめての狂言鑑賞にもおすすめです。

- 日時・会場・目録
①2024年 3月3日(日) 14:00開演 (13:15開場)
②2024年 3月16日(土) 14:00開演 (13:15開場)
③2024年 3月24日(日) 14:00開演 (13:15開場)

出演 茂山千五郎、茂山あきら、茂山茂、茂山千之丞 ほか
料金 一般2,500円 24歳以下1,000円 当日券500円増
お問合せ 077-523-7146((公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部)

滋賀県文化賞・文化奨励賞・次世代文化賞受賞者によるコンサート Celebration2023 「山本 英 フルート・リサイタル」

第38回日本管打楽器コンクールで見事第1位に輝く、湖国出身のフルーティストが長浜・木之本に初登場。ピアノに角野未来を迎え、受賞記念に贈る意欲的リサイタルをお楽しみください。



日時 2024年2月23日(金・祝) 14:00開演
会場 木之本スティックホール(長浜市木之本町木之本1757-6)
出演 (フルート)山本英 平成30年度滋賀県次世代文化賞受賞(ピアノ)角野未来
料金 一般2,000円 18歳以下1,000円 全席自由
お問合せ 木之本スティックホール TEL.0749-82-2411
プレイガイド 木之本スティックホール TEL.0749-82-2411

季刊誌 湖国と文化 第186・冬号 特集 紫式部と近江~物語の誕生

『源氏物語』起筆伝説が残る石山寺。物語に憧れる人たちに様々なモノ語りや今なお降り積もり続いています。縁起絵巻の世界、紫式部と道長、源氏物語と芸能の交差点...紫式部にかかわる様々なテーマを、鷲尾龍華・石山寺座主のほか、詩人伊藤比呂美、NHKラジオ第二「古典講読」講師の国文学者・島内景二ら多彩な執筆陣でお届けします。

1月1日発売予定
<販売価格> 660円
<取り扱い> 県内書店、びわ湖ホールシアターショップ、滋賀県立文化産業交流会館 など
<お問合せ・購入申込> びわ湖芸術文化財団 地域創造部 「湖国と文化」編集室 (077-523-7146)



ポイント2 「びわこ文化センター」
3階にある「びわこ文化センター」は、当館と同じ35年の歴史があり、2年前から当館が運営しています。音楽・ダンス・手芸・園芸・語学など、幅広い分野で約70講座を開講し、年間延べ1万人の受講生が学んでいます。その中から、次の2つの講座を紹介しつます。

1 中高生のための日本舞踊

当館が主催している小学生対象の「古典芸能キッズワークショップ・日本舞踊」の修了生が、中高生になっても学びたいという声から始まった講座です。今年5月に行われた文化センターの発表会「かがやきフェスタ」では、堂々の踊りを披露しました。それを観て、ファンになったという観客もおられます。今年8月に行われた「長栄座伝承会 むすひ」公演にもこの講座の受講生が出演し、フレッシュな踊りで観客を魅了しました。

花柳風春先生から一言
「古典芸能キッズワークショップ・日本舞踊」の頃から、受講生の成長をみてきました。文化センターでは、受講生が一層高いレベルのものに挑戦する機会を作りたいと思っています。今は、来年5月の発表会に向けて取り組んでいます。



2 こどもバレエ

文化センター開設時から続く「こどもバレエ」教室。最初の受講生は40代に入りましたが、今もバレエを続けておられるそうです。現在は、3歳から幼稚園年長までの未就学児、小学校低学年~中学年、小学校高学年~高校生までと、年齢に応じて3つのクラスがあり、米原、長浜、彦根の子どもたちを中心に約30名がレッスンに励んでいます。

林葉子先生から一言
私は35年前はアシスタントとして、現在は独立して「こどもバレエ」の指導を行っています。子どもたちが意欲を持ってバレエを楽しみながら学ぶには、発表の場が必要だと思い、発表会とおさらい会を1年毎に交互に行い、毎年公演を開催しています。



「湖響」95号では、イベントホールの特徴を詳しく紹介しましたが、今年で35周年を迎える当館にはまだまだお伝えしきれていないピックがたくさんあります。今回は、そんな文産会館の魅力をひも解きます。



文産会館の魅力、解体新書!

滋賀県立文化産業交流会館 Art journey えいじやに

※Art journeyからネーミングした「えいじやに」では、「文化産業交流会館」とびわ湖芸術文化財団「地域創造部」からのイベント情報を発信します。気軽にArtの旅を楽しんでください。

ポイント1

「小劇場」

- 特徴 座席数:207席
・固定席(203)
・親子席有(4)
・演者を間近に臨める

当館のホールは2つ。イベントホールと対をなすのが「小劇場」です。小劇場は、イベントホールと対照的。イベントホールの座席数が最大2,074席で可動なのに対し、小劇場は207席で固定席。ステージと客席が近く、アットホームな雰囲気があります。また、客席後方には親子席もあり、じっとすることが難しくなかったり、声を我慢できないお子さまも、公演を観られるような作りになっています(親子席の予約はできません)。



今冬注目の小劇場公演

1 びわ湖ミュージックフォレスト2023 File4 「Brass Quintet 冬麗コンサート」

湖国・滋賀をはじめ、関西一円で活躍する若手奏者による金管五重奏。遠く音が冷たい空気に伝わりよく聞こえる冬の晴れ晴れと澄み渡った様子「冬麗(ふゆうら)」のような、金管楽器ならではの澄んだ美しい音色をお贈りします。



日時 2024年1月13日(土) 14:00開演
出演 (トランペット)柏原朱、講崎里穂 (ホルン)篠邊千菜 (トロンボーン)西村菜月 (チューバ)澤村隼
料金 一般1,500円 青少年(24歳以下)500円 全席自由 好評発売中

2 開館35周年記念 藤原道山 尺八コンサート「雙-SO-」

尺八の新たな魅力を拓く藤原道山が米原に登場! 滋賀県出身の人間国宝であった初代山本邦山に師事した藤原道山。ソロの演奏から、青山政憲とのピアノデュオまで、尺八の持つ可能性を追求する芳醇な響きをお楽しみください。



日時 2024年2月23日(金・祝) 14:00開演
出演 (尺八)藤原道山、(ピアノ)青山政憲
料金 一般2,000円 青少年(24歳以下)1,000円 全席自由 チケット発売日 12/23(土)

1②のチケット情報はこちら➡



ポイント3

「文産アート」

文産会館にアート作品があるのをご存じですか?当館では、文化施設としての雰囲気づくりや賑わいの創出、そして産業振興にもつながればと、信楽にある陶芸の森や作家の協力を得て、エントランスホールや中庭などに県内在住の作家のアート作品を展示しています。お越しになった際はぜひご覧ください。

1 馬/壺 樹本桂子(甲賀市)エントランスホール

〈作家のこぼ〉
モチーフと器とが、どちらも主とも従ともつかないようなサイズ感で融合した形から始まり、モチーフを器のラインでカットし、両者を危ういバランスで共存させています。美術や工芸の愛好家だけでなく、より多くの人々に親しみを持って見てもらえる陶磁器という素材で、ユーモアを大切にしながら新しいかたちを生み出しています。



2 響器-HIBIKI 田中哲也(野洲市)中庭 (令和4年度 滋賀県文化奨励賞受賞作家)

〈作家のこぼ〉
「響器-HIBIKI」は音の出る器です。HIBIKIに言葉をかけると反響が聞こえます。HIBIKIの両端で、小さな声で話すこともできます。作品と来場者のコミュニケーションが生まれたら良いなと思いました。



3 テツノネ-Mingle- 藤原昌樹(大津市)噴水池跡地

〈作家のこぼ〉
鉄とまじりに遊ぶことで、いつの間にかく(無)で楽しむ姿が現れ、その「時」の重なりや背景が個性やストーリーを作り上げる。そして、素材のもつ質感を大切にしながら「感じる心」を育み、ヒトと繋がり、空間と繋がることでカタチが生まれるのだ。向こうに見える景色と一体になり、ありのままの心が表出するような作品になればと思っています。



文産トリビア 他にも、知る人ぞ知るこんなスポットもあります。

文産会館 高層棟5階 エレベーターホール・会議室

当館は湖岸から離れているため、1階からは琵琶湖を臨むことはできません。来館者から「伊吹山は見えるけど、琵琶湖は見えないのですか?」と聞かれることがあります。そんな時、こそと教えるのがこの場所です。高層棟5階のエレベーターを降りると、そこは当館一の絶景。比良山や琵琶湖が見渡せます。夕方は比良山に沈む夕陽も見ることができます。このフロアには、3つの会議室(6~20名)もあります。一度、お訪ねあれ。

